

令和4年度倉敷市立高等学校入学者選抜実施大要

倉敷市教育委員会

一般入学者選抜

1 選抜の方針

選抜に当たっては、中学校等の校長から提出される調査書、学力検査・面接・作文（精思高等学校・工業高等学校・倉敷翔南高等学校・玉島高等学校）・適性検査（真備陵南高等学校）の結果及び自己申告書等を資料として、各高等学校の科・コースの特色を配慮して総合的に判断する。

なお、高等学校長は、募集定員の一部について、学力検査の結果が一定以上にあれば、調査書及び面接等の結果を重視して選抜を行うことができる。

調査書については、中学校等の教育の全領域にわたる成果を的確に判断するための資料として重視する。

学力については、調査書の「学習の記録」に記載された評定から求めた換算点と学力検査の結果から求めた合計得点とを基に、高等学校長が「調査書の評定段階」と「学力検査の評定段階」をそれぞれ定め、相関表を作成して判定する。調査書の換算点の算出においては、学力検査を実施しない教科及び第3学年の評定を重視して取り扱う。

2 学力検査

(1) 対 象

〔第Ⅰ期〕 倉敷翔南高等学校昼間部及び真備陵南高等学校を志願する者

〔第Ⅱ期〕 精思高等学校、工業高等学校、倉敷翔南高等学校夜間部及び玉島高等学校を志願する者

(2) 実施教科

〔第Ⅰ期〕 国語、数学、外国語（英語）

〔第Ⅱ期〕 国語、数学、外国語（英語）

〔第Ⅰ期〕〔第Ⅱ期〕ともに外国語（英語）は聞き取り検査を含む。

(3) 出題の方針

ア 令和2年度までの学習については、平成27年文部科学省告示第61号の中学校学習指導要領に示された目標及び内容の範囲内で出題する。ただし、平成29年文部科学省告示第94号（中学校特例告示）を踏まえた出題とする。

令和3年度以降の学習については、平成29年文部科学省告示第64号の中学校学習指導要領に示された目標及び内容の範囲内で出題する。

イ 各教科とも基礎的・基本的事項を中心とし、思考力、判断力、表現力等をみる問題を含める。

3 面 接

志願者全員に、面接を実施する。

4 作 文

精思高等学校・工業高等学校・倉敷翔南高等学校・玉島高等学校については、志望の動機・理由、興味・関心等を把握するため、志願者全員に、作文を実施する。

5 適性検査

真備陵南高等学校については、興味・関心・適性等を把握するため、志願者全員に適性検査（作文を含む）を実施する。

6 追検査

(1) 対象

一般入学者選抜[第Ⅰ期]を、インフルエンザの罹患等やむを得ない理由により欠席した者

(2) 実施内容・日程

学力検査・面接 令和4年3月16日（水）

7 第2次募集

欠員を生じている学校・科・コースにおいて、市教育委員会と高等学校長が協議の上、実施することができる。

8 日 程

[第Ⅰ期]

出願の期間 令和4年2月22日（火）から2月25日（金）まで
（ただし、祝日を除く。）

学力検査・作文または

適性検査 令和4年3月8日（火）

面 接 令和4年3月9日（水）

合格者の発表 令和4年3月16日（水）

[第Ⅱ期]

出願の期間 令和4年3月17日（木）から3月22日（火）まで
（ただし、土曜日、日曜日及び祝日を除く。）

学力検査・作文・面接 令和4年3月23日（水）

合格者の発表 令和4年3月28日（月）

特別入学者選抜

1 実施学校

倉敷翔南高等学校

真備陵南高等学校

2 募集人員

倉敷翔南高等学校総合学科昼間部・夜間部については募集定員の50パーセントとし、真備陵南高等学校普通科3修コース・4修コースについては募集定員の30パーセントとする。

3 出 願

志願する当該科・コースに対して興味・関心があり、能力・適性を有し、志願する動機・理由が明白、適切であること。

4 選抜の方針

選抜に当たっては、中学校等の校長から提出される調査書、学力検査・面接・各高等学校において選択実施する検査（以下「選択実施する検査」という。）の結果及び自己申告書等を資料として、目的意識や適性等を重視し、各高等学校の科・コースの特色を配慮して総合的に判断する。調査書の評定については、第1学年、第2学年及び第3学年の各教科の評定を活用する。

なお、高等学校長は、募集人員の一部について、学力検査の結果が一定以上にあれば、あらかじめ示した実績を重視して選抜を行うことができる。

5 学力検査

- (1) 対 象 志願者全員
- (2) 実施教科 国語、数学、外国語（英語）
外国語（英語）は聞き取り検査を含む。

(3) 出題の方針

ア 令和2年度までの学習については、平成27年文部科学省告示第61号の中学校学習指導要領に示された目標及び内容の範囲内で出題する。ただし、平成29年文部科学省告示第94号（中学校特例告示）を踏まえた出題とする。

令和3年度以降の学習については、平成29年文部科学省告示第64号の中学校学習指導要領に示された目標及び内容の範囲内で出題する。

イ 各教科とも基礎的・基本的事項を中心とする。

6 面 接

- (1) 対 象 志願者全員
- (2) 内 容 志望の目的や適性等を把握する。

7 選択実施する検査

- (1) 対 象 志願者全員
- (2) 内 容 各高等学校は、志願者一人一人の能力や適性等を多面的に評価するために、口頭試問、小論文、作文、実技のうち、一つ以上を選択し、科等の特色を踏まえた検査を実施する。選択実施する検査の項目は、以下のとおりとする。

倉敷翔南高等学校	作文
真備陵南高等学校	小論文、口頭試問

8 日 程

出願の期間	令和4年1月25日（火）から1月27日（木）まで
学 力 検 査	令和4年2月9日（水）
面接・選択実施する検査	令和4年2月9日（水）、2月10日（木） ※ 両日のうちいずれか1日で実施する場合がある。
選抜結果の通知	令和4年2月18日（金）
合格者の発表〔昼間部〕	令和4年3月16日（水）
〃 〔夜間部〕	令和4年3月28日（月）

9 合格内定とならなかった者の扱い

選抜の結果、合格内定とならなかった者は、改めて一般入学者選抜に出願することが

できる。

成人のための定時制課程入学者選抜（成人特別選抜）

- 1 実施学校・科
精思高等学校 普通科・商業科
工業高等学校 機械科・電気科
倉敷翔南高等学校 総合学科夜間部
玉島高等学校 普通科・商業科
- 2 募集人員
いずれも若干名
- 3 出願資格・条件
次のいずれにも該当する者とする。
(1) 平成 14 年 4 月 1 日以前に出生した者
(2) 定時制高等学校を志願する動機や理由が明白、適切であり、学ぶことに対して強い意欲を有すること。
- 4 選抜の方針
選抜に当たっては、面接・作文の結果等を資料として、目的意識や意欲等を重視して、総合的に判断する。
- 5 面接及び作文
(1) 対 象 志願者全員
(2) 内 容 志望の目的や意欲・適性等を把握するため、面接及び作文を実施する。
面接では、必要に応じて簡単な口頭試問を行うことがある。
- 6 日 程
出願の期間 令和 4 年 1 月 25 日（火）から 1 月 27 日（木）まで
面接・作文 令和 4 年 2 月 9 日（水）
選抜結果の通知 令和 4 年 2 月 18 日（金）
合格者の発表 令和 4 年 3 月 16 日（水）
- 7 合格内定とならなかった者の扱い
〔特別入学者選抜〕 9 に同じ。

そ の 他

- 1 出願に当たっては、各高等学校が示す「求める生徒像」を参考とすること。
- 2 令和 4 年度倉敷市立高等学校入学者選抜における学校別実施内容等については、別表を参照のこと。
- 3 法令及びこの実施大要に定めるもののほか、必要な事項は、令和 4 年度倉敷市立高等学校入学者選抜実施要項で定める。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により、実施大要の内容を変更する場合があります。

【別表】

学 校 名	科・コース名	昼 夜 別	特 別 入 学 者 選 抜		成人 特 別 選 抜	一般入学者選抜	
			募集定員 (%)	各校が選択実施する検査 の概要		第Ⅰ期	第Ⅱ期
精 思	普 通	夜 間	—	—	○	—	○
	商 業	夜 間	—	—	○	—	○
工 業	機 械	夜 間	—	—	○	—	○
	電 気	夜 間	—	—	○	—	○
倉敷翔南	総合学科	昼 間	50%	〈作文〉 与えられたテーマについて 600 字程度で作文を書く。	—	○	—
		夜 間	50%	〈作文〉 与えられたテーマについて 600 字程度で作文を書く。	○	—	○
玉 島	普 通	昼 間	—	—	○	—	○
	商 業 (3年間修了 のみ募集)	夜 間	—	—	○	—	○
真備陵南	普 通 3修コース	昼 間	30%	〈小論文〉 与えられた文章を読んで、 問いに自分の考えを 200 ～400 字程度でまとめる。 〈口頭試問〉 与えられた課題について、 質問に答えたり自分の考 えを述べたりする。	—	○	—
	普 通 4修コース	昼 間	30%	〈小論文〉 与えられた文章を読んで、 問いに自分の考えを 200 ～400 字程度でまとめる。 〈口頭試問〉 与えられた課題について、 質問に答えたり自分の考 えを述べたりする。	—	○	—